サポート情報記事

Folder Tree のファイル操作を有効または無効にする

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

操作を設定する 4

アップロード方法を制御する 4

閲覧を中心とするページを確認する 4

操作を設定する

1 ページを編集し、**設定** を開きます。
2 **操作** を展開します。
3 ページの用途に合わせて操作を有効または無効にします。
4 ページを保存または再発行し、一般的な閲覧者のアカウントで確認します。

ブラウザーで開く、デスクトップ アプリで開く、プレビュー、ダウンロード、リンクのコピー、共有、アップロード、フォルダー作成、名前の変更、ごみ箱への移動、ライブラリを開く操作には、それぞれ独立したスイッチがあります。初期設定ではすべて有効ですが、実行できるかどうかは引き続き SharePoint 権限によって決まります。

アップロード方法を制御する

アップロード はファイルのアップロード可否を制御します。**ドラッグ アンド ドロップによるアップロードを許可** は、さらにドラッグ アンド ドロップ経由の操作を制御します。ドラッグ アンド ドロップを無効にしてもアップロード ボタンは無効になりません。アップロードを無効にすると、ドラッグ アンド ドロップが有効なままでも、どちらの方法も使用できません。**新しいフォルダー** は独立して設定します。

警告

操作を無効にすると、この Web パーツからその操作に進む経路がなくなります。SharePoint 権限を取り消したり、別の場所での同じ操作を禁止したりするものではありません。アクセス自体を変更する場合は、SharePoint の権限管理を使用してください。

閲覧を中心とするページを確認する

閲覧を主な目的とするページでは、必要な開く操作やプレビューを残し、アップロード、フォルダー作成、名前の変更、ごみ箱への移動を無効にすることを検討します。ライブラリ全体の画面への直接の経路を提供しない場合は、**ライブラリで開く** も別に確認してください。ブラウザーで開く操作を無効にしても、プレビュー、ダウンロード、デスクトップ アプリで開く操作は自動的には無効になりません。